

衆議院小選挙区選出議員選挙 宮城県第2区 選挙公報掲載文原稿用紙

| 候補者氏名 | 連絡場所 | 受理年月日 | 令和年月日 |
|-------|--|-------|-------|
| 渡邊勝幸 | 仙台市宮城野区宮城野1丁目12-15 松栄宮城野ビル1F 電話 022-355-2735 | 受理番号 | No. |

現場主義 × アフォーダブル × 国家基盤

世界はすでに「平時」ではありません。安全保障、経済、エネルギー、食料、災害対応
これらはすべて、国家主権と国民生活に直結する課題です。

私は、県議会議員として3期10年、現場で政策をつくり、実行してきました。

- 1 現場で本当に機能するか。
- 2 暮らしはアフォーダブル（無理なく暮らせる）か。
- 3 国家の基盤を守っているか。

この3つを基準に、国の政治に責任を持って取り組みます。

強くてやさしい
日本を!!

国を守ることは
家族を守り、
仕事を守り、
地域の暮らしを守ることです。



渡
辺
勝
幸

理念ではなく、現実から。
批判だけでなく、必ず提案を。
仙台から、日本の基盤を立て直します。

行政改革・財政改革で、暮らしに還元

物流・交通を国家基盤として立て直す

- 行政の無駄・非効率を見直す
- デジタル化で国民の時間と負担を減らす

- 仙台を東北物流の中枢として強化
- 「止まらない物流」を支える持続可能な体制づくり

安全保障と危機管理を現実主義で

毎月の給料・年金で安心して暮らせるか
暮らしをアフォーダブルにする

防災庁を創設し、仙台へ設置・誘致

- 抑止力としての防衛力強化

- 物価高騰から家計と事業を守る

- 災害対応の司令塔を国家機能として整備

- 国家の危機管理を「平時から動く体制」に

- エネルギー・食料・物流コストの抑制

- 東日本大震災の経験を全国の安全に活かす

渡
辺
勝
幸

支え合いの仕組みで「やさしい日本」をつくる

日本のかたちを守り、未来へつなぐ

- 子育て、介護、障害、ひとり親など、
ライフステージごとの不安に切れ目なく対応
- 働きながら、学び直しや治療、介護と両立できる制度づくり

- 憲法改正を実現し、
平和で安全な「国のかたち」をつくる
- 共に生きるやさしい「和の日本」を

自民党衆議院宮城2区支部長 宮城県議会議員(3期)

宮城県私立幼稚園PTA連合会 会長 / 宮城県障害者スポーツ協会 常任理事

平成 6年 宮城県仙台第一高等学校卒業(高46回、二年間応援団長を務める)

平成12年 参議院議員市川一朗(宮城県選挙区)政策担当秘書(平成22年まで)

平成13年 慶應義塾大学大学院法学研究科政治学専攻修士課程修了

平成26年 仙台市立沖野東小学校PTA会長 / 平成31年 同沖野中学校PTA会長

平成26年 東北大学大学院情報科学研究科非常勤講師(令和6年まで)

平成27年 宮城県議会議員初当選(3期連続当選)

平成30年 自民党宮城県連青年局長

令和 7年 自民党衆議院宮城2区(宮城野・若林・泉)支部長



渡辺勝幸ウェブサイト

衆議院宮城県
第2選挙区候補者
自民党公認